

あなどると危険！ 命取りの頭痛もあります

健康エクспレス No. 3 8

少し頭痛がするだけ？ 大勢の人を悩ませている頭痛ですが、意外と軽く考えがちです。でも、ちょっと待って！ 実は重大な病気かもしれませんよ。今回は私たちの身近な病気、頭痛がテーマです。

頭痛のタイプとは

頭痛のタイプ

皆さんの中には頭痛で悩まれている方はいませんか。頭痛の程度も軽度のものから重度のものまで千差万別です。症状の訴えについても重い痛み、鈍い痛み、持続する痛み、肩にまで広がる痛みといったような多彩な表現があります。通常のかぜや歯痛、生理痛などによる頭痛を除くと、頭痛は一次頭痛、二次頭痛という、二つのタイプに分類されず、正確には自己判断できないものですが、は頭痛そのものが主症状のものです。こちらは機能性頭痛とも呼ばれています。は明らかに脳に病気があることにより、頭痛が生じたものです。二次性頭痛の原因となる病気には、至急対処が必要となる脳の病気がありますので、特に注意が必要です。



一次頭痛とは 悩み多き頭痛持ち

原因不明の一次頭痛

「頭痛持ち」と自称する多くの方はこの一次頭痛に該当します。頭痛全体の約80%はこのタイプといわれています。また、脳を精密に検査しても、明確にその原因を特定することはできません。この一次頭痛を主な症状から分類すると、次の3種類が認められます。いずれも治療には病院で薬を処方してもらいます。

緊張型頭痛

痛みの程度はそれ程強くありません。多くの場合、肩こりと同時に見られ、後頭部を中心とした頭痛が起こります。近年、仕事でコンピューターを長時間使うようになったことで、肩・首の筋肉が緊張することから痛みが起こることが多くなったと考えられています。また、精神的ストレスも筋肉を収縮させるため、緊張型頭痛を引き起こす原因になります。

片頭痛

脈打つような「ずきんずきん」「ガンガン」とした強い頭痛は、脳の血管の収縮が原因と考えられています。こめかみから目のあたりに痛みが多く見られます。1~数ヶ月に1~2回、周期的に起こりますが、症状が重くなると、吐気があることもあります。大体は一晩寝ると楽になりますが、症状が2~3日続くこともあります。

群発頭痛

群発地震のようにある期間に集中して起こる頭痛です。と同様に、脳の血管の収縮が原因と考えられていますが、正確には解明されていません。一度痛みがあらわれると、毎日のように頭痛を起こすようになり、2週間~2ヵ月くらい続くことがあります。

命が危ないこともある 二次性頭痛とは

こんなときには注意！ 二次性頭痛

二次性頭痛は頭蓋内の病変による頭痛であり、命に関わることもあるため、至急手術などの処置が必要なケースがあります。次のような病気が二次性頭痛の原因に該当します。くも膜下出血 脳出血 脳梗塞 脳腫瘍 髄膜炎・脳炎、などです。なお、脳梗塞の場合は頭痛は軽度ですが、体のしびれや麻痺が生じます。また、髄膜炎・脳炎の場合は高熱を伴います。

一般には二次性頭痛かどうかの判断が難しいかもしれませんが、次のような症状の時には二次性頭痛を疑い、すみやかに医師の診断を受けましょう。



A. 突然の頭痛

B. 今まで経験したことがないような強い頭痛

C. いつもと様子が異なると思われる頭痛

D. 徐々に頻度と程度が増していく頭痛

E. ポーっとなる、言語障害、手足の麻痺、流涎、嘔吐などの異常な症状を伴う頭痛

《皆様の安心と安全のプレイントラスト（専門顧問グループ）》

株式会社ヤシロエージェンシーリミテッド 担当：八城一浩

〒107-0052 東京都港区赤坂3-1-2 AU 赤坂ビル4F TEL 03-3582-4511